

決議案第 1 号

戦後 80 年にあたり戦争の教訓を継承し恒久平和を求める決議について
上記の決議を別紙のとおり、所定の賛成者とともに連署し提出します。

令和 7 年 9 月 29 日

提出者 東郷町議会議員 石 原 えりか

賛成者

東郷町議会議員 加 藤 のぶひさ

東郷町議会議員 高 橋 道 則

東郷町議会議員 高 木 佳 子

東郷町議会議員 中 野 まさひろ

東郷町議会議員 山 下 茂

東郷町議会議員 熊 田 彰 夫

東郷町議会議員 こう田 さとみ

東郷町議会議員 山 田 達 郎

東郷町議会議員 加 藤 宏 明

東郷町議会議員 加 藤 啓 二

東郷町議会議員 若 園 ひでこ

東郷町議会議員 門 原 武 志

東郷町議会議員 菱 川 和 英

戦後８０年にあたり戦争の教訓を継承し恒久平和を求める決議について

二十世紀はまさに戦争の世紀であり、先の大戦では、罪なき無辜の民を含む三百万人を超える国民が犠牲となった。あれから８０年、当時成人であった人が百歳を超える歳月が流れ、戦中・戦後を実地に知る世代の高齢化とともに、記憶の風化が進んでいる。しかし、戦争の悲惨さと平和の尊さを次代へと確かに語り継ぐ責務は、今まさに重みを増している。

わが国は先の大戦以降、一度も戦火に見舞われることなく、戦争や武力紛争を回避し続けてきた。他方、世界に目を向ければ、武力紛争や暴力、分断の連鎖は絶えず、核兵器による威嚇や対立の深まりが続き、人類の存続をも脅かしかねない深刻な現実には、私たちは深い危機感を抱かざるを得ない。

本町は、唯一の戦争被爆国として未来を担う世代に平和の大切さを継承していく責任を明らかにした「東郷町平和都市宣言」をはじめ、「ロシア軍によるウクライナ侵攻の暴挙に、断固抗議する決議」や「ガザ地区をはじめとする世界の和平を求める決議」等を通じ、強く平和を希求する姿勢を明確にしてきた。

先人のたゆまぬ努力により、本町は大きく発展し、東郷創立１２０周年を来年に迎えようとしている。志半ばで戦地に倒れた人々、そして苦難の中で復興に尽力された人々の記憶を、決して風化させてはならない。平和とは誰かに与えられるものではなく、私たち一人ひとりの意思と日々の行動によって築かれるものである。

よって、東郷町議会は、戦後８０年の節目にあたり、過去の悲劇を教訓とし、人類が手を取り合って築く恒久平和の実現を強く求めるとともに、戦争と被爆の実相を次代に伝える教育と記録の継承を一層推進し、国際社会の平和と人権の尊重に資する取組を着実に進めることを、ここに決議する。

令和７年９月２９日

愛知県愛知郡東郷町議会